

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施 主体	事業量		期間〔黒字：計画〕											備考	
			全体	うち計画期間 内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		R16～
1 河川下水道対策																	
河川対策																	
(一) 竹田川	〔市の貝川合流点～出合橋付近〕 井堰統合、橋梁改築 他	県	統合井堰 1 基、橋梁改 築 他	統合井堰 1 基、橋梁改 築 他		第5統合井堰、橋梁 1基、井堰改築 1基、左岸築堤 160m 用地測量											・ひょうごインフラ整備プログラム 前期(R6～R10)：継続 後期(R11～R15)：継続
(一) 黒井川	〔小野橋～馬橋〕 護岸、橋梁改築 他	県	L=920m	L=920m		護岸 L=920m、橋梁改築 6橋 用地買収											・ひょうごインフラ整備プログラム 前期(R6～R10)：継続 後期(R11～R15)：完了
新規 (一) 三井庄川	堤防強化	県	L=300m	L=300m		堤防強化 L=300m 詳細設計 用地測量											・河川緊急自然災害防止対策事業
新規 三宝ダム、栗柄ダム	ダム管理用制御処理設 備等更新	県	2ダム			ダム管理用制御処理設備等更新 2ダム											・ひょうごインフラ整備プログラム 前期(R6～R10)：継続 後期(R11～R15)：継続
新規 森、市島救急内水 排水機場	排水機場機械設備、電 気設備等老朽化対策	県	2箇所(森、 市島)			排水機場機械設備、電気設備等老朽化対策 2箇所											・ひょうごインフラ整備プログラム 前期(R6～R10)：継続 後期(R11～R15)：継続

※「ひょうごインフラ整備プログラム」の計画期間は、同プログラムの着手・完了時期(前期・後期)を明示したものであり、事業の着手・完了年度を明示するものではありません。
今後、事業化にあわせて着手・完了年度を明示していきます。

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間[黒字:計画]												備考
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～	
2 流域対策																	
調整池の設置指導																	
重要調整池の設置	1ha以上の開発に対し、重要調整池を設置	開発者(県指導)	-	-													都度対応
調整池の設置指導	1ha未満の開発に対する調整池設置指導	丹波市	-	-	16件												[都市住宅課] ・丹波市では「丹波市開発指導要綱」に基づき開発行為者に対して、雨水貯留・浸透による流出抑制対策を行うように指導している。今後においても、適切な指導を行う。 ・都度対応
指定調整池の指定		県	-	-													都度対応
雨水貯留浸透機能の確保、ダム・ため池の治水活用																	
学校・公園・公共施設	校庭貯留、駐車場の透水性舗装等の雨水貯留浸透機能を整備	県・市	-	-													[丹波市教育総務課] ・学校施設において校舎等の大規模改修時に合わせて、必要に応じ校庭貯留の整備に努める。 [丹波市文化・スポーツ課] ・スポーツ施設等の大規模改修時に合わせ、必要に応じ貯留の整備に努める。
市立学校	市立学校校庭貯留	丹波市	継続実施	継続実施													継続予定だが、整備箇所は未定
県立水上高校	県立学校校庭貯留	県 (総合治水課)	1箇所	1箇所		検討											実施に向けて検討

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間[黒字:計画]											備考	
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		R16～
2 流域対策																	
田んぼダム	セキ板設置啓発	地元・県 (篠山土地改良)	継続実施	継続実施													・多面的機能支払交付金制度を活用した、「田んぼダム」取り組み啓発を行う。 ・実施については各市町、活動組織の自主的な取組による
		丹波篠山市	継続実施	継続実施													[農都整備課] ・多面的機能支払交付金制度を活用し、各市において「水田貯留機能強化計画」を制定し、「田んぼダム」を推進するための方策等を示すことで、更なる取組拡大を促進する。 ※水田貯留機能強化計画…丹波市全域、丹波篠山市全域で策定済み ・多面的機能支払交付金活動組織による田んぼダムの取り組み ※水田の貯留機能向上活動、または水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)を実施した活動組織 ・多面的機能支払交付金の説明会において、「田んぼダム」への取り組み啓発を行う。
		丹波市	継続実施	継続実施													[農林振興課] ・多面的機能支払交付金活動組織による田んぼダムの取り組み ※水田の貯留機能向上活動、または水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)を実施した活動 ・多面的機能支払交付金の説明会において、「田んぼダム」への取り組み啓発を行う。 [農地整備課] ・市補助金を活用して、一筆排水樹の設置及び畦畔の嵩上げや補強を支援
		県民	－	－													
各戸貯留	雨水タンクの設置推進	県民	－	－													
新規 各戸貯留	雨水貯留タンク設置費助成の助成	丹波篠山市	－	－													検討
新規 各戸貯留	雨水貯留タンク設置費助成の助成	丹波市	－	－													検討
透水性舗装	県管理道路における歩道の透水性舗装	県	－	－													歩道の改良、改築時に実施
指定雨水貯留浸透施設の指定	指定雨水貯留浸透施設の指定	県	－	－													都度対応
新規 ダム(事前放流)	ダム事前放流(栗柄ダム)	県	1箇所	1箇所													基準降雨量以上の雨が予測される場合実施

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間〔黒字：計画〕											備考	
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		R16～
2 流域対策																	
ため池	ため池改修に合せた事前放流設備の整備	県 (篠山土地改良)	2箇所	2箇所													・出典：農林水産省「2025、インフラ整備プログラム、農業農村整備事業管理計画」 ・事業名：農村地域防災減災事業など ・事前放流機能の整備…ため池改修時にあわせて、ため池栓や洪水吐の切り欠きを新設することで、低水位管理が容易になり、洪水調節容量の確保が促進される。 ※ため池栓…取水施設・洪水吐とは別に設置し、事前に開放することで貯水を抑制
			11箇所	11箇所													・治水協定を締結し、事前放流など利水以外の操作管理に要する取組に対して助成 (水利施設管理強化事業：竹田川流域はR6より実施)
			継続実施	継続実施	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)	1回 (60人)		・多面的機能支払交付金事業の「水田の雨水貯留機能の強化(田んぼダム)を推進する活動への支援」を今後も説明会で案内する。 【県(篠山土地改良事務所)と共催】 ・ため池管理者講習会の継続開催 ・改修時の技術的助言・指導
	治水活用に 関する普及啓 発	丹波篠山市	継続実施	継続実施	1回 (42人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	1回 (30人)	【県(篠山土地改良事務所)と共催】 ・ため池管理者講習会の継続開催 ・改修時の技術的助言・指導
ため池	管理者等への事前水位下 げの依頼	丹波篠山市	継続実施	継続実施	157人												
		丹波市	継続実施	継続実施	111人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	150人	・ため池管理者講習会の際に依頼 ・ため池管理者へ水利施設管理強化事業の実施団体を募集
指定雨水貯留浸透施設 の指定	指定雨水貯留浸透施設の 農業用ため池の指定	県 (丹波土木)	継続実施	継続実施		110人	110人	110人	110人	110人	110人	110人	110人	110人	110人		都度対応

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間〔黒字：計画〕												備考
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～	
2 流域対策																	
森林などの流出抑制機能を有する土地の保全等																	
新ひょうごの森づくり	第3期対策																
災害に強い森づくり	災害緩衝林の造成 等	県 (丹波農林振興事務所)	4,766ha	2749ha 3216ha	227 329	災害緩衝林の造成											・第5期（R8～R12）で次期対策を検討中
丹波篠山市森づくり構想	丹波篠山市森づくり構想の「森の恵みの回復」方針に基づき、森林の持つ水源かん養機能、山地災害を緩和する土砂災害流出防備機能などの森林が持つ多面的機能発揮のために人工林の間伐などの事業を実施する。	丹波篠山市	-	-	間伐 105ha												丹波篠山市森づくり構想「森の恵みの回復」
丹波市森林づくりビジョン	①「源流の森林づくり」「里山保全の森林づくり」「経済循環の森林づくり」の基本方針のもと、森林整備を進める ②森林環境譲与税を活用し、水源涵養や土壌保全といった森林が持つ多面的機能の発揮につながる森林整備を促進する。 ③県民緑税を活用した「災害に強い森林づくり」事業に積極的に取り組む。	丹波市	-	-		森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	森林管理 100%作戦による造林事業 30ha 5000m 路網整備	丹波市森林づくりビジョン

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間〔黒字：計画〕											備考
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
3 減災対策																
浸水が想定される区域の指定																
浸水情報等の周知	CGハザードマップの周知等	県、市、県民	継続実施	継続実施												
まるとまちごとハザードマップ	実績浸水深等の明示 表示方法の検討 等	県、市、県民	継続実施	継続実施												
ハザードマップの更新・周知	ハザードマップの更新・配布	丹波篠山市	継続実施	継続実施												内容に応じ更新し、配布等実施
	ハザードマップの更新・配布	丹波市	継続実施	継続実施												内容に応じ更新し、配布等実施
洪水浸水想定区域の指定	想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表・必要に応じて見直し	県	1河川	1河川												技術基準の改定や河川改修の進捗を踏まえて、必要に応じて見直し
内水浸水想定区域図の作成・公表	想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図の作成	丹波篠山市	－	－												検討
内水ハザードマップの作成・周知	内水浸水想定区域図を記載した内水ハザードマップの作成・周知	丹波篠山市	－	－												検討
氾濫危険水位等の見直し	氾濫危険水位等の見直し	県	1河川	1河川												適宜見直し

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間[黒字:計画]											備考	
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		R16～
3 減災対策																	
県民の情報の把握																	
防災情報の発信	県民だよりひょうごによる発信	県	継続実施	継続実施													・防災関係の記事を掲載し、地域住民の防災意識の向上を図っている。
	ひょうご防災ネット	県	継続実施	継続実施													
	デカンジヨ防災ネットの登録促進等	丹波篠山市	継続実施	継続実施													・地域や自治会で開催される防災学習の機会を捉えて、「ひょうご防災ネット」への登録を呼びかけている。
	丹波市防災メールの登録促進等	丹波市	継続実施	継続実施													・継続実施
防災情報の伝達																	
雨量・水位情報	CG/ハザードマップや地上デジタル放送等を通じた発信	県	継続実施	継続実施													
河川監視画像	CG/ハザードマップを通じた発信	県	継続実施	継続実施													
氾濫予測情報	フェニックス防災システム(運用中)を通じた効果的・効率的な活用方法検討	県・市	継続実施	継続実施													
河川情報の伝達	ホットラインの構築	県・市	継続実施	継続実施													
	水害対応タイムラインの作成	県・市	継続実施	継続実施													
防災行政無線	デジタル化に向けた設備更新	丹波篠山市	継続実施	継続実施													・継続して適正に維持管理、適時更新
		丹波市	継続実施	継続実施													・継続して適正に維持管理、適時更新

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間[黒字:計画]												備考	
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～		
3 減災対策																		
マイ避難計画、地区防災計画の推進	個人のマイ避難計画、自治会等、地域住民の地区防災計画の作成	丹波市	随時	随時														・防災研修で随時作成を推進
浸水による被害の軽減に関する学習																		
防災リーダーの育成	ひょうご防災リーダー講座受講等に係る費用の補助	丹波篠山市	継続実施	継続実施														・ひょうご防災リーダー講座受講にかかる費用補助の継続 ・自主防災組織避難訓練等補助事業の継続
		丹波市	継続実施	継続実施														・継続実施
手作り防災マップの作成支援	手作り防災マップの作成支援	丹波篠山市	261地区	261地区														・手作り防災マップの作成支援事業の継続
		丹波市	298地区	298地区														・随時更新を推進
地域防災力の強化	DIGを活用した、被害軽減のための予防策や対応策、避難行動の検討、被災者支援団体間のネットワークづくり・情報交換	県 (丹波県民局)	継続実施	継続実施														・被災者支援活動研修会を実施(R3～)

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間[黒字:計画]												備考
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～	
3 減災対策																	
浸水による被害の軽減のための体制の整備																	
水防活動等への支援	地域の防災訓練時に防災物資などの提供支援	丹波篠山市	継続実施	継続実施													・従来の取組の推進
		丹波篠山市	継続実施	継続実施													・継続実施(自治会等が取り組む地域防災力強化のための訓練事業補助制度含む)
	消防団と自主防災組織で連携した地域単位での防災訓練実施	丹波市	継続実施	継続実施													・毎年1地区で実施
		丹波市	継続実施	継続実施													・継続実施
共助の取組推進	災害時要援護者支援制度の充実(個別避難計画の作成)	丹波篠山市	—	—													・従来の取組の推進
円滑な避難体制の整備	避難行動要支援者の個別避難計画作成、個別避難訓練の実施	丹波市	随時	随時	1件実施												・対象者、関係者との協議により随時実施
		丹波篠山市	随時	随時													・随時実施
協定締結	他市町・民間事業者との協定締結	丹波篠山市	随時締結	随時締結													・従来の取組の継続
		丹波市	随時締結	随時締結													・継続実施

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施主体	事業量		期間〔黒字：計画〕											備考	
			全体	うち計画期間内	～R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		R16～
3 減災対策																	
訓練の実施																	
訓練実施	「ひょうご安全の日」の実施	県	継続開催	継続開催													・安全で安心な社会づくりをめざし、各県民局・県民センターを中心に、各地域の防災の課題等を踏まえた防災学習等を実施
	地域住民と連携した避難訓練	丹波篠山市	継続開催	継続開催													・総合防災訓練の継続（令和6年度は西紀中地区で実施） ・防災と福祉の連携による避難訓練事業の継続（年間2自治体）
	防災訓練（自治会等からの要請等）	丹波市	継続開催	継続開催													・継続実施
建物等の耐水機能																	
指定耐水施設の指定	指定耐水施設の指定	県	-	-													
浸水による被害からの早期の生活の再建																	
フェニックス共済への加入促進	加入促進	県・市	継続実施	継続実施	13.2%	13.3%	13.3%	13.4%	13.4%	13.5%	13.5%	13.6%	13.6%	13.7%	13.7%		管内全体の数値のため、計画地域内の加入率とは異なる。

令和6年～令和15年のフォローアップシート(案)

箇所・取組	事業概要	実施 主体	事業量		期間〔黒字:計画〕											備考	
			全体	うち計画期間 ～R5 内	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～		
4 環境保全と創造への配慮																	
環境保全と創造への配 慮	主な取り組み内容 ・河川対策を実施する際には「ひょうご・人と自然の川づくり」の基本理念や基本方針に基づき、生態系、水文化・景観、親水に配慮した河川整備を実施する。 ・森林や水田・ため池などを対象とした流域対策を実施する際にも、自然環境、生物環境、景観などに配慮した事業を行う。	県・市	継続実施	継続実施													工事の実施にあたっては、環境保全と創造への配慮を行った取組みを継続して実施